



# 美濃陶磁歴史館だより

展示や講座、発掘調査の成果、文化財関係事業のお知らせ

2021年度	展覧会名	会期	内容
● 現代茶陶展のあゆみ ● 【重要文化財公開】元屋敷陶器窯跡出土品展		開催中～6/20(日)	土岐市が主催する現代茶陶展の受賞作品と、桃山時代の元屋敷陶器窯跡の茶陶、過去から現代へと繋がる茶陶の魅力をご紹介します。
● 土岐市の古窯－妻木窯下古窯跡群－ ● 美濃桃山陶		6/25(金)～9/12(日)	土岐市内に点在する古窯の一つ妻木窯下古窯跡群(妻木町)の出土資料と当館所蔵の美濃桃山陶を厳選してご紹介します。
● 小山富士夫と美濃 一昭和の窯業界のあゆみとともに－		前期 9/17(金)～12/5(日)	世界的な陶磁研究者であり、陶芸家であった小山富士夫は、昭和初期に初めて美濃を訪れ、その後、荒川豊蔵や塚本快示ら陶芸家や窯業界と深い関係を築きました。最晩年は土岐市長の招きにより市内に「花の木窯」を開窯、そこで75年の生涯を終えます。本展では、小山と美濃との関わりを振り返ります。
 種子島茶碗  色絵向附		後期 12/9(木)～R4/2/13(日)	
● 発掘調査速報展 ● 【重要文化財公開】元屋敷陶器窯跡出土品展 ● 特別展 ● 企画展 ● 収蔵品展		2/18(金)～6/26(日)	近年に土岐市内で行われた主な発掘調査の成果とともに、かつて発掘が行われた国史跡元屋敷陶器窯跡の出土資料をご紹介します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により予定を変更する場合がございます。  
最新情報は当館WEBサイトでご確認ください。

## 発掘速報！ 遺跡名「浅野館跡」(肥田浅野笠神町)

令和2年度に実施した浅野館跡試掘調査は、大発見が続きました。まず第一に、これまで未発見だった浅野館(鎌倉時代)の堀跡(南西角付近)と考えられる遺構が出土しました。次に別の区画では、奈良時代末～平安時代初頭の郷長宅、あるいは郡衙別院(どちらも役所の支所のような施設)と考えられる大型建物の他、掘立柱建物、竪穴住居、土坑、区画溝など、多数の遺構が出土し、当時の土岐盆地の中心集落が浅野にあったことが判明しました。



大型の総柱建物跡など(空撮、写真右側が北)



堀跡(北から)  
(※一部のみ掘削)



茶陶の価値観を変えた桃山時代の美濃焼



《黒織部茶碗》  
土岐市美濃陶磁歴史館蔵

特集  
茶陶



《水指》 加藤洋二  
第1回織部大賞 1995

重要文化財公開  
元屋敷  
陶器窯跡出土品展

桃山から現代へ

企画展  
現代茶陶展  
のあゆみ



《美濃伊賀水指》  
土岐市美濃陶磁歴史館蔵



《削ぎ目水指》 松永慶  
第13回TOKI織部大賞 2020

土岐市主催の公募展「現代茶陶展」の25年を振り返る

開催中! 2021 2/27 日 → 6/20 日

開催中!

企画展

# 現代茶陶展のあゆみ

全国規模の公募展として25年間で13回の開催を重ねた「現代茶陶展」では、じつに多彩な作品が評価されてきました。格式と伝統をもつ茶の湯の世界をみつめ、「現代の茶陶とはなにか」を問い続ける作家たちのそれぞれのこたえがここに集います。

歴代 TOKI 織部大賞作品



第1回/1995 《水指》加藤洋二



第2回/2000 《黄瓷水指》大野耕太郎



第3回/2005 《黒い香合》鈴木卓



第4回/2010 《備前水指》奥本丸味



第5回/2012 《輪彩紋水指》田中豊



第6回/2013 《碧の器》西田宣生



第7回/2014 《ふた、モノ。》五味謙二



第8回/2015 《銀泥彩磁かいわれ文向付》井戸川豊



第9回/2016 《白器水指「表裏」》和田的



第10回/2017 《灰釉茶碗》金子充義



第11回/2018 《白磁水指》高橋奈己



第12回/2019 《Like a Rolling Stone-Tsukechi Valley》沼尻真一

大賞



《削ぎ目水指》松永慶

## 第13回 受賞作品

コロナ禍により表彰式・展覧会が中止となった第13回の受賞作品をお披露目!

優秀賞



《銀彩茶盆 皓月》高橋朋子

優秀賞



《白虹文水指》中村裕

優秀賞



《銀彩器》岩佐昌昭

奨励賞



《水指「舞」》岸田怜

奨励賞



《灰釉花入幾何学》山本二郎

奨励賞



《YUME 喰うモノ》中井和仁

※奨励賞《引出黒》加藤摺也 本作は企画展「現代茶陶展のあゆみ」での展示はありません。

奨励賞



《氷瓷茶碗》黒岩達大

## 地元作家たちの受賞作品

地元からも多くの作家が繰り返し挑戦しています。



第4回 TOKI 織部奨励賞《織部水指》根崎隆博



第6回 TOKI 織部優秀賞《鼠志野茶碗》林友加



第7回 TOKI 織部奨励賞《青白磁花入 雪客》細川令子



第6回 TOKI 織部奨励賞《三色すみれ》安藤千都勢



第7回 TOKI 織部奨励賞《若葉釉流線紋茶盆》田中孝

## 同時開催 開催中! 【重要文化財公開】元屋敷陶器窯跡出土品展

安土桃山時代、茶の湯の流行の影響を受け、それまでの美濃焼にはなかった色彩と作為ある造形が特色の茶陶(美濃桃山陶)の生産が始まります。元屋敷陶器窯跡は、安土桃山時代から江戸時代初頭(16世紀後半~17世紀初頭)にかけて操業した美濃桃山陶生産の中心地です。瀬戸黒、黄瀬戸、志野の他、美濃最古の連房式登窯で焼かれた最盛期の織部は、今なお高い評価を受けています。



織部黒茶碗



黒織部茶碗



青織部向付



志野織部向付



美濃伊賀水指